

考取一个资格⑱

“护理管理人员(护理支援专门人员)”

⑱

这次所介绍的是跟以前曾经在本刊中登载过的家庭助理员(第 28 期)及护理福祉士(第 29 期)有着很大关系的一项资格护理管理人员。护理管理人员的正式名称是“护理支援专门人员”。



家庭助理员及护理福祉士的工作是对需要护理的人直接提供生活助理或护理;而护理管理人员的工作则是制定护理计划,一边与提供护理服务的单位进行协调,一边在为他人提供支援护理的过程中起着领导、领航作用。因此可以说,护理管理人员是具备充分经验和知识的福利专家。

也有人说干护理管理人员这一行很辛苦。只是,它关系到护理・福利方面的所有细节,因此这一项工作非常重要,也十分有意义。

作为一名护理管理人员,可以在很多单位工作。有义务配置护理管理人员、与护理有关的事务所自然不用说,就是保险公司及福祉用具销售公司等民营企业,以及市政府等机关,也开始出现了配置护理管理人员的动向。

在人口老龄化越来越严重的日本,护理管理人员可以说是一种不可或缺的存在。

<怎样才能成为护理管理人员呢>

要想成为护理管理人员,需要经过几个步骤。首先,要通过对护理支援专门人员实际业务研修参加考试。合格之后,还要参加由各都

資格を取ろう⑱

「ケアマネージャー(介護支援専門員)」

今回ご紹介するのは、以前、本誌の「資格を取ろう」でご紹介したホームヘルパー(第28号に掲載)や介護福祉士(第29号)と関係の深い資格です。ケアマネージャーは正式には介護支援専門員と言います。

ホームヘルパーや介護福祉士が介護の必要な人への介護サービスに直接携わる仕事だったのに対して、ケアマネージャーは介護サービスの計画を立てて、介護サービス事業者と連携を取りながら、介護支援におけるリーダー的な役割を果たします。十分な経験と知識を兼ね備えた介護のスペシャリストとも言えます。

大変な仕事という声もあるようですが、介護全般にかかわる重要な仕事であるため、とてもやりがいのある仕事です。

就職先は幅広く、ケアマネージャーの人員配置を義務付けられている介護関連の事務所はもちろん、保険会社や福祉用具販売会社などの民間の会社、市役所などでも配置の動きが見られています。

ますます高齢化が進む日本において不可欠な仕事と言えるでしょう。

<ケアマネージャーになるには>

ケアマネージャーになるためには、いくつかの段階を経なければいけません。まず、介護支援専門員実務研修受講試験に合格し、次に各都道府県で実施される介護支援専門員実務研修を受講する必要があります。また、この試験を受ける際には、医療

道府县政府机关实施的対护理支援专门人员实际业务研修。另外，参加此实际业务研修，还需要具备医疗及福祉方面的资格，以及丰富的实际业务经验。比如，持有医生或护理福祉士的执照，并且参与了与执照准许范围有关的工作，其时间在五年以上等。具体事宜，敬请向各都道府县所设置的社会福祉协议会咨询。

< 考核 >

考核每年实施一次，迄今为止均于 10 月实施。考核范围为：支援护理方面知识、保健医疗服务方面知识，以及福祉服务方面知识（根据报考者所持执照种类，有时也会免去部分考核内容）。大部分都道府县基本上采用的都是选择题方式（五选一）。此项考核的平均及格分数为百分之七十左右。

※具体事宜，敬请浏览各都道府县的社会福祉协议会开设的网页。

要是您对这一资格感兴趣，同时又没有报考实际业务考试的条件或执照的话，那么，最好是先取得家庭助理员或护理福祉士资格，然后投身到护理工作第一线，积累一些经验以后再考护理管理人员的资格。正如本文所提到的那样，尽管护理管理人员资格并非一时半会儿就可以拿到，但是一旦拿到这项资格，可以在各种各样的、与护理有关的单位工作，因此，当一名护理管理人员，追求自己理想的护理服务，难道不是很好的一件事情吗！

（公財）中国残留孤儿援护基金向意欲参加针对家庭助理员、护理福祉士及护理管理人员（护理支援专门人员）资格考核讲座的归国者及其家人提供援助。敬请参照第 3 页内容。

(K)

福祉分野の資格や豊富な業務経験が求められます。例えば、医師免許や介護福祉士などの資格を持ち、その資格の関連業務を 5 年以上経験しているようなことが必要です。詳しくは、各都道府県社会福祉協議会にお問い合わせください。

< 試験 >

試験は年に 1 回、今までは毎年 10 月に実施されています。試験範囲は、介護支援分野、保健医療サービス分野、福祉サービス分野です。（保有している資格によっては免除される分野があります。）ほとんどの都道府県がマークシート方式（5 肢複択）を採用しており、7 割程度の正答率で合格となっています。

※詳しくは、各都道府県社会福祉協議会のホームページをご覧ください。

今回の資格に興味を持った方で、実務研修受講試験を受けるための条件である資格や経験のない方は、まず、ホームヘルパーか介護福祉士の資格を取り、介護現場で経験を積んだ後に、ケアマネージャーを目指すのがいいと思います。本文中にあるように、ケアマネージャーはすぐになれるものではありませんが、幅広く介護分野の仕事にかかわれるので、ケアマネージャーになって理想の介護を追求するのもいいのではないのでしょうか。

（公財）中国残留孤儿援护基金では、ホームヘルパーおよび介護福祉士、ケアマネージャー（介護支援専門員）受験対策講座を受講する帰国者とその家族に対して援助を行っていますので、P3 の記事をご覧ください。(K)